

あい  
まなび  スクール構想 ~ Iwanuma × ICT × Interest ~

協働的に未来を  
創造する児童生徒を育む

仕事でも家庭でもあらゆる場所でインターネットを介したテクノロジーに支えられている日常。

今後、新しい社会に生きる子供たちは、鉛筆やノートと同じようにテクノロジーを活用して学んでいきます。

岩沼市では、ICTを活用して人々と様々な課題を解決する能力の素地を養う学校の実現を目指します。



あい  
まなび  スクール構想  
Iwanuma × ICT × Interest

岩沼市では1人1台の端末と高速大容量のネットワーク環境の一体的な整備を進めています。この整備されたICT環境を活用し、「岩沼の子供たち」をどのように育てていくのか、そのためにどのような学校を目指すのかを構想しました。そして、この構想

を、「まなびi(あい)スクール構想」と名付けました。

「まなびiスクール構想」では「協働的に未来を創造する児童生徒を育む」ことを目指します。あらゆる場所でインターネットを介したテクノロジーに支えられている日常を生きる子供たちは、今後、テクノロジーを文房具の一つとして活用し、学んでいきます。岩沼市では、ICTを活用して人々と様々な課題を解決する能力、その素地を養う学校の実現を目指していきます。

「まなびi」の「i」は「Iwanuma」「ICT」「Interest」の頭文字の「i」です。Iwanumaの人物や歴史、文化、産業、自然などの魅力的な地域素材を生かし、ICTを効果的に活用して児童生徒のInterest(興味関心)を引き出して学習に取り組ませる。その学習を通して、新たな知的好奇心が生まれ、さらに学びを深めていく。そんな学びの循環を「i」は表しています。このような学びを通して、子供たちが協働して未来を創造できる人材となることを目指していきます。

